

# 地域おこし協力隊通信

こんなこと、やっています。こんなとこで、がんばっています。

## 3年間の任期、おつかれさまでした

協力隊の甲斐友也さんが5月いっぱいまで長島町での任期を終えました。長島の「食」を使命に、人と人とのつながりをつくり続けた3年間。活動では町内の生産者を紹介

し、その生産物とともに届ける冊子『長島大陸食べる通信』の発行や『食堂あさひや』の営業などを通じて、長島の食の魅力を伝え続けました。「地域とながったからこそ、最後の1年間が一番楽しかったです」と、振り返る甲斐さん。3年間の長島生活のなかでの手応えを「やっと、いろいろとつながって、これからという感じがあります」と話しました。

甲斐さんは今後、食堂あさひやを拠点に、長島の新たな観光の中心地を目指し、「なごる食」の試みを展開します。



## 長島町のユリがテレビ番組内で紹介

協力隊の江副佑輔さんは現在、広報紙『広報ながしま』の制作に携わる一方、新型コロナウイルス感染症の影響で困っている町内の事業者の支援を行っています。

江副さんが関わっている宮路園芸(矢野)では、花の卸し先が減少したことで商品のオリエンタルユリ40万本が破棄される恐れがありました。そこで、会員制交流サイト(SNS)を活用したPRで販売促進を支援。その活動もあって、テレビ東京の『ソレダメ!』というテレビ番組をはじめ、幅広いメディアで長島町のオリエンタルユリが取り上げられました。

江副さんは「5月の1カ月間を『母の月(母の日)』とした運動にも貢献でき、多くの人にオリエンタルユリとの縁を結べたことを嬉しく思います」と話しました。



## 空き家家囃

ーばなしー

第貳回

昨年度の空き家事業の実績は？

今回は、令和元年度の空き家事業の実績をお知らせします。賃貸・売買された空き家の数は23軒で、41名のかたがこれに伴い引越されました。その内訳も見ていきましょう。

空き家改修補助を使ったリフォームは17軒で、リフォーム費用は平均約380万円(補助額は平均約253万円)でした。リフォーム費用の負担は、10軒が家主負担、7軒は利用者(賃借人、購入者)負担でした。移動パターンは、20名が町内住替え、21名が町外からの転入でした。

空き家改修補助は、町内の引越しても利用できます。また、家主ではなく、賃借人、購入者でも利用できますので、まずは地方創生課までご相談ください！

空き家でお困りのかたは、ご相談をお待ちしております。

移住定住コーディネーター  
ますだ ひろみつ  
益田 啓光



問い合わせ先

役場地方創生課地方創生係  
☎(86)1101[直通]